

平成28年度 学校評価

平成29年1月24日

A：目標を上回って達成できた

B：目標をおおむね達成できた

C：目標をやや下回った

D：目標を大きく下回った

千葉県立大多喜高等学校

重点目標	目標達成のための具体的な取組と成果（主たるもの） （重複の重点目標にまたがるものは、再提示しない）	評価の根拠（主たるもの） （アンケートより・重複するものは不再提示）	肯定意見 （%）	自己評価	学校関係者 評価
1 心の教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業を年35時間実施し、授業公開を開催（地域の小中学校への授業参観） ・「豊かな心の育成」の時間を実施（外房地区少年センター少年補導指導員） ・芸術鑑賞会「古典芸能（落語）」（保護者公開） ・グローバル人材育成講演会（「元青年海外協力隊 ブルキナファソ派遣 古宮綾乃氏」） 	<ul style="list-style-type: none"> ①私は、大多喜高校に入学してよかったと思う。 ②私は、大多喜高校に入学させてよかったと思う。 ③私は、大多喜高校での仕事にやりがいを感じている。 ④学校の教育活動全般について保護者はよく理解しており、職員は信頼されている。 ⑤大多喜高校は、生徒の安全や健康の管理に積極的に取り組んでいる。 	生徒 75.0% 保護者 85.0% 職員 94.9% 職員 97.5%	A	A
2 安全安心な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の点検、生徒対象防災教育・避難訓練、バイク安全指導、自転車点検、交通安全街頭指導等、大掃除、いじめ対策委員会設置 ・定期健康・修学旅行事前・マラソン大会事前各健康診断、保健講話（性教育）、1年生緊急対応教育、疾病異常生徒個別指導、熱中症予防対策、水質・環境・薬品補充点検、AED点検、避難訓練救急準備、食中毒予防、教室照度・空気・検査器具点検、（熱中症等による入院、交通事故者 現在 0人） ・モラルアップ委員会主催職員不祥事防止研修 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥大多喜高校は、清掃が行き届いておりきれいな学校である。 ⑦特別活動や部活動時の危機管理体制はきちんと構築されている。 ⑧大多喜高校の先生は、工夫したわかりやすい授業をしている。 	生徒 84.0% 保護者 73.0% 職員 97.4% 生徒 91.0% 保護者 77.0% 職員 87.2% 職員 82.1%	B	A
3 基礎学力の定着・向上及び個に応じた指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職による授業観察と助言、指導課訪問の活用(保健体育・社会)、年2回の授業公開（含「授業練磨の日」）の実施、ミニ集会時授業参観） ・1・2年生対象夏期勉強合宿、1学期進学課外、夏期実力養成講座、夏期進学課外、2学期進学課外、冬期実力養成講座、冬休み進学課外、3学期進学課外の実施 ・業者テストを活用した授業の実施 ・主体的学びの提供（スタディサブリの導入と活用） ・1年生対象業者模試、2年生対象業者模試、3年生対象業者模試の実施 ・各教科別日常補習の実施及び生徒個人別科目指導の実施 ・長期休業中の計画的な図書館利用の推進 ・担任による個人レベルの学習面談の常時実施 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨大多喜高校の先生は、生徒の学力向上に積極的に取り組んでいる。 ⑩大多喜高校では、（個に応じた）学習の遅れがちな生徒の指導も十分に行われている。 ⑪私は、家庭で授業の予習・復習をしている。 ⑫授業は、家庭学習の習慣化のため、工夫されて行われている。 ⑬私は、授業をとおして、自分に力がついてきたと思う。 	生徒 76.0% 保護者 58.0% 職員 97.5% 生徒 80.0% 保護者 75.0% 職員 69.3% 保護者 41.0% 職員 71.8% 生徒 44.0% 職員 69.2% 生徒 85.6%	B	B
4 全職員の生徒理解に基づいた生徒指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・服装・頭髪・登校指導及び各学年主導の服装指導の実施 ・美術部の全国高等学校総合文化祭への9年連続（女子2名）の作品出展 ・卓球部女子個人インターハイ出場 陸上部女子個人関東大会出場 / 柔道部男子団体関東大会出場 / 剣道部女子団体関東大会出場 ・職員研修の実施（教育相談・特別支援教育等） ・あいさつ及び礼儀正しい言葉使いの励行 	<ul style="list-style-type: none"> ⑭大多喜高校は、服装・遅刻指導などの指導がきちんとなされている。 ⑮大多喜高校は、社会の基本的なルールやマナーを守って生活している。 ⑯大多喜高校は、生徒の悩みや相談に親身になって対応してくれる。 	生徒 92.0% 保護者 90.0% 生徒 96.0% 保護者 90.0% 職員 92.3% 生徒 81.0% 保護者 57.0%	A	A
5 キャリア意識を向上させ、主体的で意欲的な進路選択ができる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関や町立図書館での仕事体験の実施 ・職場体験 町行政、福祉体験、県行政、い鉄アテンド ・職員進路説明会の実施、企業訪問、公務員等模試の実施、面接指導等 ・大学出前授業、保護者進路説明会、進路講演会（大学イノベーション研究所山内太地氏） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑰大多喜高校は、生徒の進路目標達成に向け、適切な指導を行っている。 	生徒 85.0% 保護者 71.0% 職員 94.9%	B	A
6 地域とともに歩む学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標、体罰・セクハラ等相談窓口の周知、PTA日より、保健だより、図書だより、進路通信の発刊、HPの更新 ・マンドリンギター部 い鉄マンドリンギター列車・地元老人ホーム訪問演奏 三育学院大学演奏会、大多喜町さくら祭演奏 ・吹奏楽部「大多喜場マラソン大会」等地域イベント参加、地域幼・小・中との交流、定期演奏会 ・生徒サマースクール学習支援 土睦小・一宮小・東浪見小・瑞沢小、大多喜中、西中 ・茶道部 大多喜城（さくら祭）参加、中央博物館展 参加 ・小中高特別授業 長南町立東小学校・西小学校 森田圭一教諭と生徒文化財紹介 ・いすみ鉄道対策委員会による い鉄支援活動（月1回の駅清掃等） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑱大多喜高校の職員は、PTA活動に協力的である。 ⑲地域住民や保護者に対して、説明責任を果たそうと努めている ⑳大多喜高校では、学校行事・部活動等で特色ある教育活動が行われている。 	保護者 62.0% 保護者 67.0% 職員 100% 生徒 69.0% 保護者 75.0% 職員 97.5%	C	B